



大工職人をはじめ地域の人々の協力によって建設が進められた



万年杭を利用した手づくりの案内板



館内では観音像に関連した展示品が置かれている



高月町は、観音信仰が盛んな地として知られており、多くの観音像が戦国時代からの戦乱を逃れ、地域の人々により大切に守られてきた。観音像の多くは、胎内仏として秘仏となっており、こうした胎内仏を守り伝えてきた先人たちの志や地域の歴史を後世に伝えていくために「冷水寺胎内仏資料館」が開設された。

この資料館の開設された宇根地区では、宇根ヶ野原から未来へとというテーマのもとに郷づくり委員会が運営されており、建設に際しては、地域住民からのアンケート調査や子供たちの作文などを参考にして、計画が進められた。

建物は、世界一ちっちゃな資料館というフレーズが付けられているように約三坪余りの小さなもので、館内には十一面観音座像が安置されているほか、胎内仏の聖観音菩薩座像のパネル写真などが展示されており、自動放送装置による案内放送も行われている。

資料館の建設は、宇根地区の人々が協力して行い、在住する建築士や大工、左官などの職人による技術が大きな支えになっている。地域住民自らが企画し、住民の手によって資料館の建設が行われたことで、郷土を愛する心や連帯感の醸成にもつながっている。

DATA・BOARD ⑮

- ① 滋賀県伊香郡高月町宇根
- ② 延床面積：15.75㎡
- ③ JR北陸本線高月駅から徒歩約15分、北陸自動車道木ノ本ICから車で約10分
- ④ ヤンマー記念会館、西野ほりぬぎ公園、流岸寺観音堂、雨森芳洲庵、町立歴史民俗資料館
- ⑤ 特別企画展・高月観音の里ふるさとまつり(8月第1日曜日)

